



第42期 中間報告書

2022年1月1日 ▶ 2022年6月30日

Contents

経営理念・ごあいさつ	01
特集・活躍する外国籍人材への期待!	03
トピックス	05
サステナビリティの取り組み	07
決算ハイライト	09
連結財務諸表	10
セグメント情報	11
株主総会資料の電子提供制度のご案内	12
会社概要/株式の状況	13

人が未来-Next Technology Frontier®

 Alps 株式会社 アルプス技研

証券コード: 4641

Heart to Heart

社会や企業の発展も、
個人の成長も技術開発も、
全て人間関係が基本で
あることを認識し「人と人との
心のつながりを大切にしよう」
という意味を表しています。



代表取締役社長 今村 篤

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

このたびの新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々やご遺族に対しまして謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方とそのご家族、また様々な影響を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げます。

ここに「第42期中間報告書」をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

第42期第2四半期(2022年1月1日～2022年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響によって依然として不透明な状況にあります。さらに、ウクライナ情勢や、サプライチェーンの混乱、原材料価格の高騰、米欧の金融政策の動向による下振れリスクについても、引き続き注意する必要があります。

当社グループの主要顧客である大手製造業各社において、地政学的リスクを背景としたサプライチェーンの見直し及びDXの進展に伴うネットワーク等の需要拡大による半導体関連などの開発投資の拡大、環境対応を含む次世代車の開発が激化する自動車業界などを中心に研究開発投資を維持しております。

このような環境下、当社グループは経営理念「Heart to Heart」のもと、「チームアルプス」というグループビジョンを掲げ、グループの総力をあげて積極的な事業展開を図り、最高業績の更新に向けて邁進しております。50周年を機に挑戦した新たな分野の農業・介護においても、着実に成長してまいりました。引き続き、独創的な事業を通して地方創生、少子高齢化などの社会課題に向き合い、人々がより心豊かに生活できる社会の実現に未来志向で貢献してまいります。

これからも株主の皆様のご期待にお応えできるよう、全力で取り組む所存でございますので、引き続きのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年9月



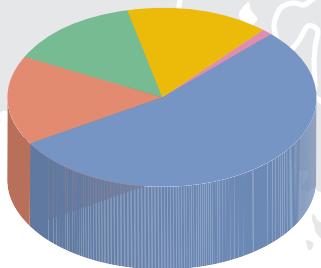
活躍する外国籍人材への期待! ～技術・農業人材

新型コロナウイルス感染症の水際対策の緩和により、本年3月から、海外で採用した外国籍社員がようやく入国できるようになりました。今年度、既に94名の外国籍社員が入社しており、さらに来年初までに100名以上の来日を予定しています。

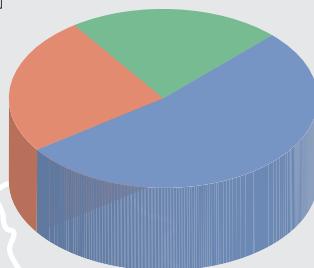
これまで、海外で専門技術や日本語等の勉強を続けてきており、待ちに待った日本での就業に、目を輝やかせています。今後もアルプス外国籍社員の活躍にご期待ください。

2022年入社(予定) グローバル社員

国別

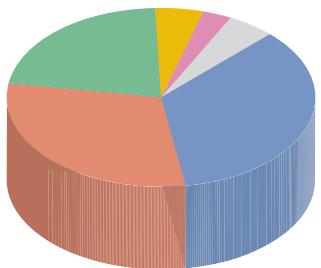


分野別

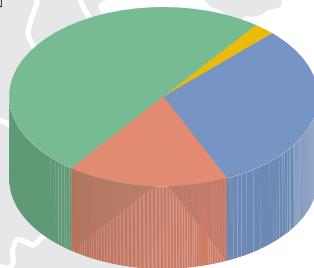


アルプス技研グループグローバル人材 (2022年下期入社予定社員含む)

国別



分野別





2年ぶりの入社～

※上記国旗は、2022年7月時点の当社グループに在籍している社員の出身国です



～外国籍人材活用のあゆみ～



時代に先駆け1990年代から外国籍人材に着目

2003 ●創業者 松井個人の寄付金で、ミャンマーにIT技術養成コース開設

2004 ●創業者 松井個人の寄付金で、ミャンマーに介護補助専門家養成コース開設

2005 ●中国・青島科学技術大学にアルプス国際教育センター設立

2006 ●中国・石油大学にアルプス国際教育センター設立

2007 ●現地法人アルテック青島 教育センター設立

専門技術や日本語教育だけではなく、日本の文化や習慣を踏まえたビジネスマナー教育を実施しております。

現在は、14か国、450名を超える外国籍人材が在籍しております。

2015 ●ベトナムにある教育機関と提携し、技術者の育成、採用を開始

2018 ●外国籍農業人材の採用を開始
●ミャンマーにアルプス技研高等職業訓練大学校を開校

トピックス

日本経済新聞「2023年卒 就職企業人気ランキング」

2022年4月7日付 日本経済新聞朝刊「新卒採用広告特集」の「2023年卒 大学生対象 就職企業人気ランキング」で、当社がランクインしました。

業種別 人材サービス (派遣・紹介)

※33業種に分類した中での順位

1位

理系学科系統別 (機械・電気・情報系)

※理系学科を4分類に分けた中での順位

12位

理系男子

※理系の学科に所属している男子の中での順位

14位

地域別 (東京を除く関東甲信越)

※北海道から沖縄まで全国8エリアに分け、そのエリアに本社を構える企業の中での順位

14位

理系総合

※全理系学科に所属の学生が選んだ中での順位

37位

(2023年3月卒業・修了予定の大学生・大学院生の33,000人を対象)

2022年度「JPX日経中小型株指数」指定

2022年度JPX日経中小型株指数の構成銘柄に当社が指定されました。
2018年から選定され今年で5年目となります。

株式会社アルプスケアハート



事務所内の様子やサービス
内容をお届けしています

2021年7月に設立し、創業の地である相模原市にて訪問介護事業を開始。同年開所した相模原市の2事業所（橋本・淵野辺）に続き、2022年、ニーズの高い横浜市に新たに2事業所（菊名・東神奈川）を開所しました。『介護を新しく生活をあなたらしく』をスローガンに、サービスの更なる質向上を図るとともに事業エリアを拡大しています。

(株)アルプスケアハート公式HP
<https://www.alpscureheart.co.jp/>



(株)DONKEYの活動について

2022年5月9日放送 日本テレビ「ZIP!」や、2022年6月11日放送 NHK WORLD「BIZ STREAM」の「農業ロボット特集」コーナーで、小型多機能ロボット「XCP100」が紹介されました。なお、「BIZ STREAM」においては、技術的な内容に踏み込んだインタビューもあります。こちらは、2022年12月11日までNHK WORLDオンデマンドで視聴可能です。



Japan's Farmers Turn to Agritech
BIZ STREAM | NHK WORLD-JAPAN On Demand
(13分30秒～)

(株)DONKEY公式HP
<https://www.donkey.co.jp>



サステナビリティの取り組み

● 2050年のカーボンニュートラルを目標として設定

- ①社有車のEV化、照明のLED化、ペーパーレス化などの省エネ活動推進
- ②脱炭素社会の実現に向け、技術サービスによる支援強化
- ③植林・ゴミ拾いなどの活動を通じた、全社員の環境課題に対する意識醸成

● 健康経営優良法人2022 (大規模法人部門) に認定



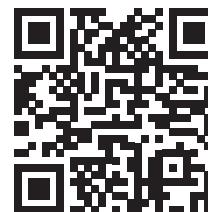
当社は、経済産業省と日本健康会議が選定する「健康経営優良法人2022 (大規模法人部門)」に認定されました。人材を大切な経営資源と捉えており、社員の健康保持・増進を図ることが、当社の持続的成長につながると考えます。健康で充実した日々を過ごせるよう推進していきます。



2022
健康経営優良法人
Health and productivity

●NPO法人ふれあい自然塾 「松井奨学金」事業開始

青少年の育成を目的として進学するために経済的支援を必要とする高校生を対象に、奨学金事業を開始しましたのでお知らせします。



登録フォーム

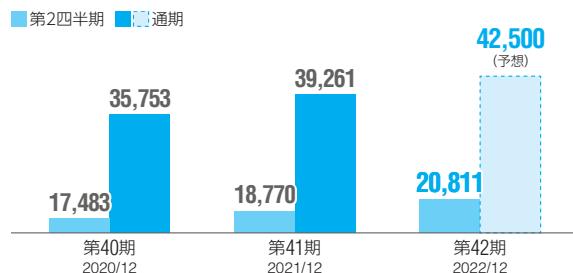
●小学生向け書籍で当社のSDGsに関する取り組みが紹介

小学生向けにSDGsを紹介する書籍「みんなが知ってる企業のSDGs社会に関わるとりくみ」(ほるぷ出版)において、大手企業の事業活動を通じたSDGsの取り組みで当社が紹介されました。



決算ハイライト

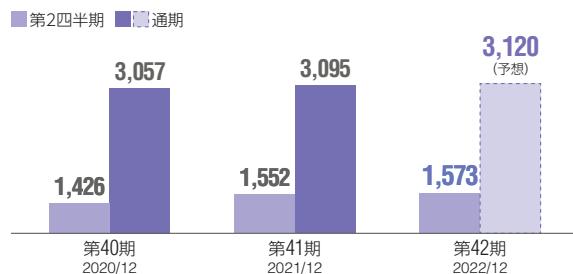
売上高 (百万円)



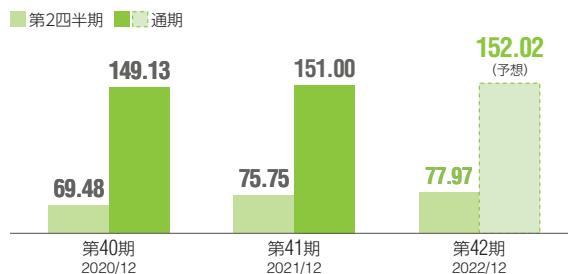
経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益 (百万円)



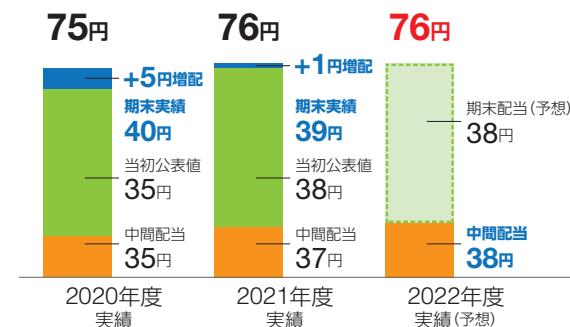
1株当たり四半期 (当期) 純利益 (円)



※今期期首より、収益認識による会計基準を適用しております。

配当に関する基本方針

- 連結ベースでの配当性向50%を基本とする
- 中間配当金は年間配当金の50%を目処とする
- 業績にかかわらず年間配当10円を維持する (安定配当の見地)



連結財務諸表

※今期期首より、収益認識による会計基準を適用しております。

● 損益の状況

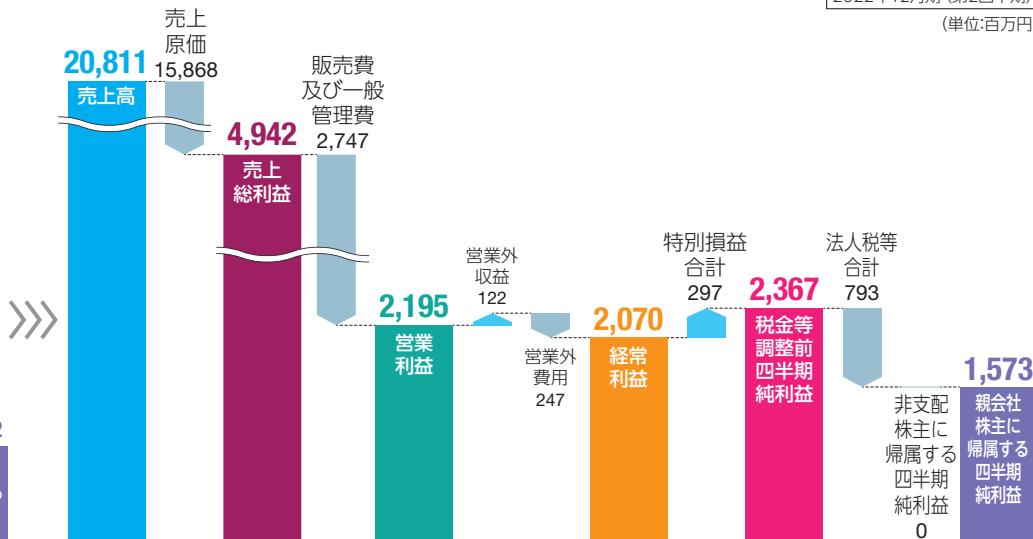
2021年12月期 (第2四半期)

(単位:百万円)



2022年12月期 (第2四半期)

(単位:百万円)



● 資産・負債・純資産の状況

(単位:百万円)

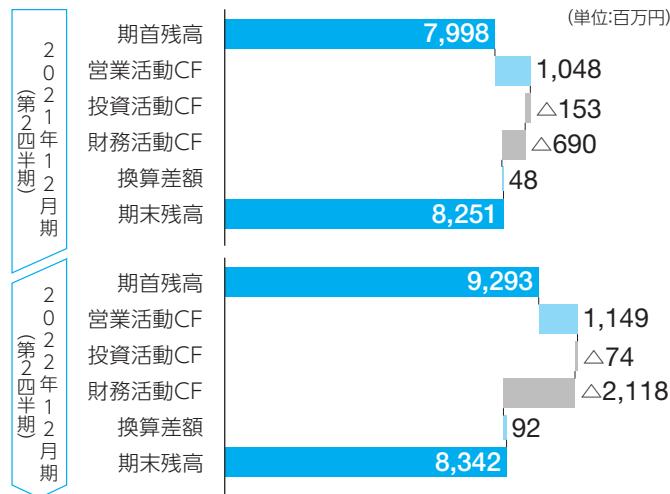


2022年12月期 (第2四半期)



● キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)



セグメント情報

2022年12月期 (第2四半期)

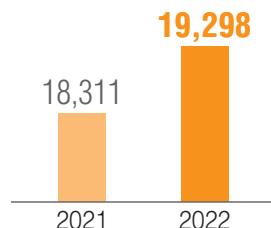
(単位:百万円)

● セグメント別の状況

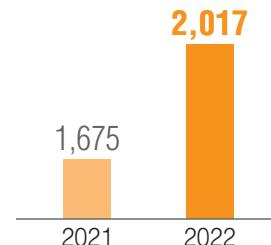
アウトソーシングサービス事業

優秀な人材の確保のためオンライン採用、リファラル採用などの施策に注力いたしました。また、稼働率や契約単価の改善を柱とした営業施策により、引き続き稼働率は高水準を維持し、稼働人数、契約単価ともに上昇いたしました。

売上高



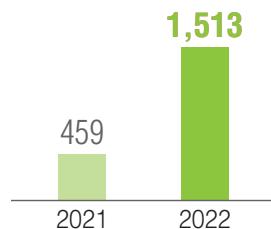
営業利益



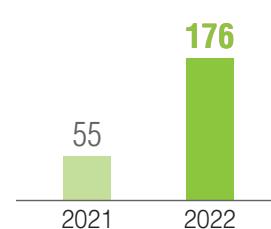
グローバル事業

需要が拡大している半導体業界を中心に、新規案件の受注獲得と人材サービス事業の拡大に向けた施策に注力いたしました。

売上高

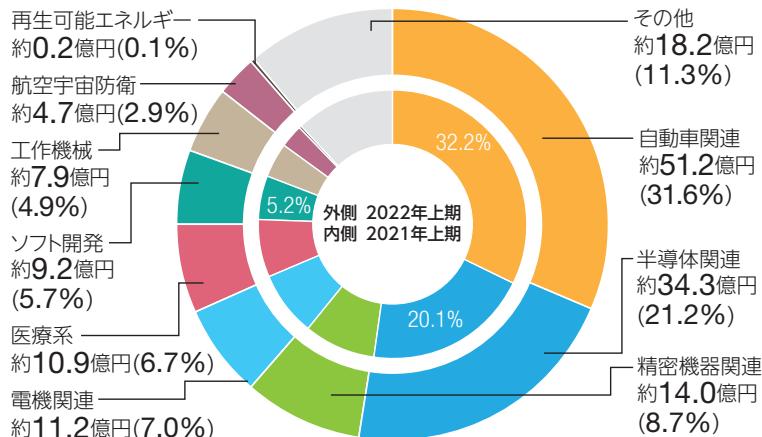


営業利益



● 業種別売上

右図は売上高に占める業種別のシェアを表しております。自動車関連がシェアトップであることに変わりありませんが、比率は減少いたしました。一方、半導体関連は、5Gやネットワーク関連の需要拡大を受け、当社としてもシェアを拡大いたしました。引き続き、成長が見込める市場を見極め、柔軟にシフトできる体制を維持してまいります。



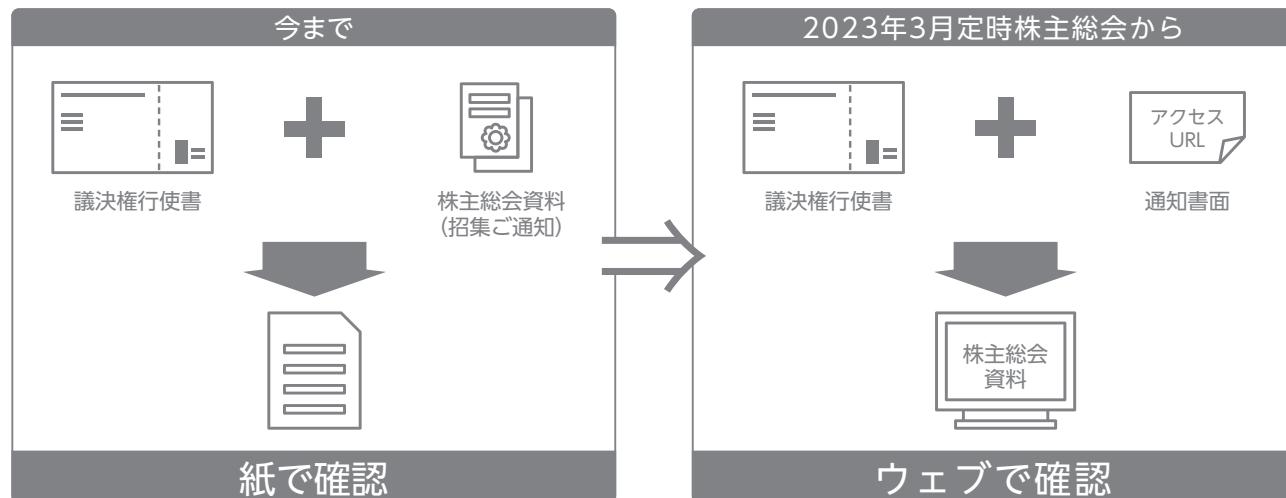
(注)上記グラフは、株式会社アルプス技研個別の実績であります。

株主総会資料の電子提供制度のご案内

株主総会資料の電子提供制度

会社法の改正により、株主総会資料が原則ウェブ化されます。

(ご参考) 電子提供制度のイメージ



インターネットのご利用が難しい株主様は、「書面交付請求」が可能です。

書面交付請求

インターネットを利用することが困難な株主様にもお手続きしていただけるよう、お申出いただいた株主様には発行会社より株主総会資料を書面でお送りします。なお、書面交付請求を行わなくても、招集通知は必ず書面にて送られます。

書面交付請求の受付期限

株主総会の基準日(2022年12月31日)までにお申し出が必要です。

会社概要 (2022年9月1日現在)

会社概要

商号 株式会社アルプス技研
英訳名 Altech Corporation
本社 〒220-6218
神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目3番5号
クイーンズタワーC 18階
TEL.045-640-3700 (代表)

アルプス技研第1ビル

〒252-0131
神奈川県相模原市緑区西橋本五丁目4番12号

アルプス技研第2ビル

〒252-0131
神奈川県相模原市緑区西橋本一丁目16番18号

創業 1968年7月

設立 1971年1月

資本金 23億4,716万円

拠点 国内28拠点
(営業所、ものづくりセンター室、分室)

■ 創業者 最高顧問 松井 利夫

取締役・監査役及び業務執行役員

代表取締役社長	今村 篤	業務執行役員	河野 晶
取締役副社長	渡邊 信之	業務執行役員	石橋 武
取締役	須藤 泰志	業務執行役員	田代 和典
取締役	杉本 猛	業務執行役員	太田 秀幸
取締役(社外)	田辺 恵一郎	業務執行役員	市村 貴彦
取締役(社外)	野坂 英吾	業務執行役員	相澤 充
取締役(社外)	呉 雅俊		
常勤監査役	石井 忠雄	(注)1. 取締役のうち、田辺恵一郎氏、野坂英吾氏、呉雅俊氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。	
監査役(社外)	賀谷 浩志		
監査役(社外)	加藤 勝男	2. 監査役のうち、賀谷浩志氏、加藤勝男氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。	
補欠監査役	甘粕 潔		

事業所一覧/グループ会社

国内拠点 (28拠点)

●北日本事業部

札幌営業所 仙台営業所 郡山営業所 とかち分室

●北関東事業部

宇都宮営業所 日立営業所 つくば営業所
高崎営業所 大宮営業所 新潟分室

●南関東事業部

東京営業所 相模原営業所 横浜営業所 厚木営業所

●中日本事業部

松本営業所 甲府営業所 名古屋第1営業所
名古屋第2営業所 浜松営業所 静岡営業所

●西日本事業部

京都営業所 大阪営業所
姫路営業所 広島営業所
福岡営業所 沖縄分室



国内グループ会社 (6社)

(株) アルプスビジネスサービス

技術職・事務職の人材派遣事業、技術者等の職業紹介事業、社員教育事業

(株) パナR&D

技術職の人材派遣事業、設計開発の請負、受託事業

(株) アルプスアグリキャリア

農業分野へのアウトソーシング事業

(株) デジタル・スパイス

ソフトウェア開発、設計・製造事業、技術者派遣事業

(株) アルプスケアハート

訪問介護及びその他居宅介護サービス事業

(株) DONKEY

小型多機能型ロボットの研究開発～販売、データ活用サービスの提供

海外拠点



① ヤンゴン支店

- ミャンマー国内における人材育成事業
- エンジニアリングサービス事業 等

海外グループ会社 (3社)

② 臺灣阿爾卑斯技研股份有限公司 台湾アルプス技研

- 各種プラント設備機器、工場設備機器の設計・製作・据付及びメンテナンス事業
- 総合人材サービス事業

③ 阿邇貝司機電技術(上海)有限公司 アルテック上海

- 各種プラント設備機器、工場設備機器の設計・製作・据付及びメンテナンス事業
- 技術人材ソリューション事業

④ ALPSGIKEN MYANMAR CO., LTD. ミャンマーアルプス技研

- 人材育成事業、エンジニアリング事業

株式の状況

発行可能株式総数 42,900,000株
 発行済株式の総数 21,746,675株
 株主数 11,870名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	2,416,200	12.00
アルプス技研従業員持株会	1,666,731	8.28
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	863,700	4.29
公益財団法人とかち財団	748,000	3.71
株式会社東邦銀行	589,529	2.92
株式会社横浜銀行	580,707	2.88
株式会社八十二銀行	305,910	1.52
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	220,000	1.09
横浜振興株式会社	215,600	1.07
株式会社朋栄	215,600	1.07

(注)1. 当社は、自己株式を1,624,451株保有しておりますが、上記大株主からは除外して
 おります。

2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。また、表示単位未満を切り捨て
 て表示しております。

所有者別株式分布状況



WEBサイト情報

●コーポレートサイト

当社の最新情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。



テレビCMに関するお知らせ

2022年4月よりCM提供番組が変更となりました。ぜひご覧ください。



株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
期末配当金受領株主確定日 12月31日
中間配当金受領株主確定日 6月30日
定時株主総会 毎年3月
株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
TEL.0120-782-031 (通話料無料)
○インターネットによるダウンロード
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL.0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先)
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場
1単元の株式数 100株
公告の方法 電子公告により行います。
<https://www.alpsgiken.co.jp/ir/index.shtml>
やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(株式に関する手続き)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社アルプス技研

〒220-6218
神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目3番5号
クイーンズタワーC18階
TEL.045-640-3700(代表)
<https://www.alpsgiken.co.jp/>
お問合せ先 経営企画部 経営企画・IR課
E-mail: ir-kouhou@alpsgiken.co.jp



この報告書は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。

